年度　大阪府立大学大学院工学研究科　　研究指導計画書（案）

年　　月　　日作成
年　　月　　日修正

<table>
<tr><td>学籍番号</td><td colspan="2"></td><td>学生氏名（フリガナ）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>専攻・分野名</td><td></td><td>年次</td><td>年次</td><td>入学年・月</td><td>年　　月</td></tr>
<tr><td>研究題目</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="3">研究指導教員名</td><td colspan="3">副指導教員名</td></tr>
</table>

〇研究計画（学生が記入）:（研究計画・方法、学会発表，論文作成等の計画を記載）

〇研究指導計画（指導教員が記入）

※　記載例

年度　大阪府立大学大学院工学研究科　　研究指導計画書（案）

年　　月　　日作成
年　　月　　日修正

学籍番号			学生氏名（フリガナ）		
専攻・分野名		年次	年次	入学年・月	年　　月
研究題目					
研究指導教員名			副指導教員名		

〇研究計画（学生が記入）：（研究計画・方法、学会発表，論文作成等の計画を記載）

研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。

1 年次 4 月～7 月：研究計画の立案
　指導教員と相談し、決定した研究課題に関して先行研究を整理し研究計画を立案する。
1 年次 7 月～2 年次 1 月：研究の遂行
　研究計画に従って研究を遂行する。
　1 年次では、主に予備的な実験や調査を行い研究方法の確立を図る。
　2 年次では、確立した研究方法によりデータ収集・解析等を進め、その成果を修士論文としてまとめる。
2 年次 9 月：研究成果の中間発表
　ここまでの成果と今後の予定について、専攻内の発表会で報告する。
2 年次 10 月～1 月：修士論文の作成
　これまでの研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、指導教員のもとで修士論文をまとめる。
2 年次 1～2 月：修士論文の提出・発表
　修士論文を指定する期日までに提出し、 公開の発表会で論文の内容を発表する。

研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。

〇研究指導計画（指導教員が記入）

1 年次 4 月～7 月：研究計画の立案
　学生と相談して決定した学生の研究課題・研究計画立案について、研究方法、文献の検索や読解方法等を指導する。
1 年次 7 月～2 年次 1 月：研究の遂行
　学生が実施している研究の進行を随時確認し、実験・調査等の手法やデータ解析の指導等、研究の進捗状況に応じた指導を行う。
　研究倫理委員会での審査を必要とする場合は、その手続きの指導を行う。
2 年次 9 月：研究成果の中間発表
　専攻内の発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。
2 年次 10 月～1 月：修士論文の作成
　研究成果をもとに修士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。
2 年次 1～2 月：修士論文の提出・発表
　修士論文を提出できるよう指導し、発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。